

製鉄原料について

本年度の鐵鋼生産は順調に120萬トン計畫の完遂へと邁進してゐるが、當初懸念された高爐鉄の生産も期を追ふて上昇して本年度生産計畫90萬トンに對し95%内外の生産は可能のようである。

處で高爐鉄生産を本年度の火入豫定全部が火入を完了した7月30日以後の生産についてみると8月よりは8基が稼働してゐて設備の變更はないのであるが、生産は次のようになってゐる。この生産上昇の裏付けとなつてゐるのが輸入製鉄原料のようである。

月次	高爐鉄生産	強粘結炭在庫	輸入鐵石在庫高
8	65,816	52,569	48,272

9	70,690	70,129	56,137
10	78,255	52,655	100,013
11	79,319	79,937	132,296
12	82,080	137,478	148,492
1	92,209	247,583	143,015

原料炭と鐵鐵石の在庫高の推移を見ると在庫高も生産上昇に伴ひ増加してゐる。云ひかへれば原料輸入が増加して來て生産が上昇したことになる。高爐作業は手持の原料の品位、性質を充分知つて作業をしなければほんとの作業は出來ないことを端的に表はしてゐるようである。

反對に國內原料のみにては如何に作業がしにくいかと云ふ證明にもなるかも知れないと思つて數字だけを掲げた。

日本鐵鋼協會記事

1. 昭和24年度第1回理事會報告

日時 昭和24年3月5日(土) 13時~16時30分 會場 協會々議室

出席者 (會長) 山岡 武 (副會長) 志村清次郎 (理事) 芥川武, 菊池浩介, 松永陽之助, 湯川正夫, 横山均次 (前會長) 俵國一, 吉川晴十, 三島徳七 (常務委員) 石田四郎, 石原善雄, 谷口光平 (主事) 金谷三松

報告事項 I. 昭和23年度研究部會報告

a. 製鋼部會—鹽基性平爐研究會2回 (委員長 吉川晴十君)

b. 昭和23年8月商工省鐵鋼局・日本鐵鋼連盟・日本鐵鋼協會連合後, 製鋼部會 (部會長 吉川晴十君) 3回, 鋼材部會 (部會長 湯川正夫君) 8回, 鑄物部會 (部會長 谷口光平君) 3回。

協議事項 I. 第37回講演大會實施に關する件 委員分担等決定. II. 社團法人日本鐵鋼協會寄贈資金取扱規則の件 決定, 尙研究を要す. III. 會費未納金取立ての件. 等。

2. 昭和24年度第2回(臨時)理事會報告

日時 昭和24年3月26日(土) 13時~16時 會場 協會々議室

出席者 (會長) 山岡 武 (理事) 芥川 武, 繪野澤喜之助, 横山均次 (前會長) 吉川晴十 (常務委員) 石田四郎, 俵國一 (主事) 金谷三松

報告事項 I. 洋書購入に關する委員會 (第2回) の件 24-3-7(月). 13時~16時30分. 協會々議室. 出席者 (理事) 芥川武君, 菊池浩介君 (日本金屬學會) 黒田正夫君, 橋本宇一君 (鑄物協會) 雄谷重夫君 (熔接學會) 奥村敏恵君 (日鐵) 谷口光平君, 小宮信二君 (主事) 金谷三松. 協議 洋書購入のため分配方針及びリストの審定 II. 洋書購入に關する委員會 (第3回) の件 24-3-23, 14時30分~16時30分. 出席者 (理事) 芥川武君, 菊池浩介君 (鑄物協會) 堤信久君 (熔接學會) 奥村敏恵君 (主事) 金谷三松 協議 洋書購入の分配表 決定 原案通り承認。

協議事項 1. 前會長齊藤大吉君3月25日逝去に就き弔意を表する件, 決定 弔辭及香典金一封を供へること。

2. 會費徵收方法の件. 具體案決定實施のこととなる。